SONY

パーソナルコンピューター

VGN-G2 シリーズ

取扱説明書

付属マニュアル一覧

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

バイオの画面で見るマニュアル

■ VAIO 電子マニュアル

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックする。

➡ バイオ使用上、必要な情報を記載しています。

■ 重要なお知らせ

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

➡ バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

■ ヘルプ

各ソフトウェアのヘルプメニューから、それぞれのヘルプを起動する。

➡ 付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

パーソナルコンピューター

VGN-G2 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

この説明書で使われているイラストについて

この説明書で使われているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。
お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
この説明書で説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。

この説明書で表記されている名称について

- 搭載モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- 付属モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- プリインストールモデル
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

はじめに

本機をセットアップする

インターネット／メール

パスワード／TPM／指紋認証

増設／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

注意事項

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「VAIO電子マニュアル」に掲載しています。
「VAIO電子マニュアル」の使いかたについては53ページをご覧ください。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：
PCG-5M1N、PCG-5M2N、PCG-5M3N、PCG-5M4N、PCG-5M5N、PCG-5M6N

電波法に基づく認証について（ワイヤレスLAN機能／Bluetooth機能搭載モデル）

本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について（ディスクドライブ搭載モデル）

- 本製品は、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1に適合しています。
  本体底面に下記適合ラベルを表示しています。

クラス1レーザー製品

- 本製品に内蔵している光ディスクドライブについて修理が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
  お客様ご自身で本体からドライブを取りはずしたり分解することは大変危険ですので、絶対に行わないでください。
  本機のキーボードを取りはずすと、下記注意ラベルを表示しています。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B EN CAS D'OUVERTURE. EVITER TOUTE EXPOSITION DIRECTE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN GEÖFFNET. DIREKTEN KONTAKT MIT DEM STRAHL VERMEIDEN.
注意	ここを開くとクラス３B可視放射および不可視レーザ光が出る。ビームに人体をさらさないこと。
危险	拆开时会产生可视和不可视的3B类激光辐射。请避免光束照射。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIO カスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はエネルギースター規格に基づいて設計されており、次の省電力設定で出荷されています。

- 約15分操作をしないと自動的に液晶ディスプレイの電源を切る。
- 約30分操作をしないと自動的にスリープモードに移行する。

元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

ENERGY STAR and the ENERGY STAR mark are registered U.S. mark.

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：
（03）3447-9100
受付時間：10：00～17：00
（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、
http://www.sony.co.jp/sonyinfo/pcrecycle/
より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に古紙70%以上の再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- この説明書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。あらかじめご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

13～19ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても、記録内容の補修や修復は致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリモジュールを取り付ける／はずす」（108ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込む

ウォールマウントプラグアダプタがACアダプタとコンセントの両方にしっかり差し込まれていないと、発熱による火災や感電の原因となることがあります。

ウォールマウントプラグアダプタを他のACアダプタに使用しない

ウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。
本機以外では使用しないでください。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク（LAN）ケーブルを抜いてください。
また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

本機のLANコネクタに次のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。

付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内で使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHz（IEEE 802.11a）ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- この説明書に記載するまたはソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  ー本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  ー分解、改造を行ったバッテリを使用した。
- 性能が低下したバッテリを使わない。
  バッテリ駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリと交換してください。

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

はじめに

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

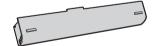
❑ パソコン本体

❑ ACアダプタ

❑ ウォールマウントプラグアダプタ

❑ 電源コード

!ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ バッテリ

説明書・その他

❑ **取扱説明書**

❑ **主な仕様と付属ソフトウェア**

❑ **保証書**

修理の際に必要になります。

❑ **VAIOカルテ**

修理の際に必要になります。

❑ **その他パンフレット類**

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

❑ **Microsoft® Office Personal 2007*1 プレインストールパッケージ**

（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ **Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 プレインストールパッケージ**

（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ **Microsoft® Office Professional 2007*3 プレインストールパッケージ**

（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（208ページ）をご覧ください。

*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。

*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。

*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

❑ **Windows® XP Professional インストールディスク**

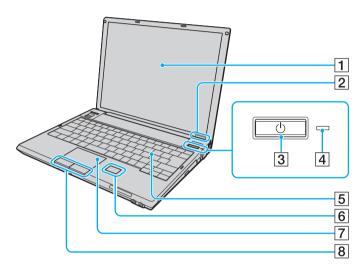
（Windows® XP Professionalインストールディスク付属モデルに付属）

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
  詳しくは「リカバリする」（131ページ）をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。
詳しい説明については、(　)内のページまたは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

本体正面

1 **液晶ディスプレイ(167、215ページ)**

2 **IDラベル**
型名が記載されています。

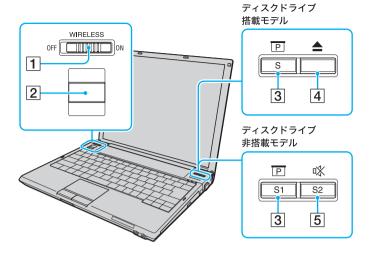
3 **⏻(パワー)ボタン(37ページ)**

4 **⏻(パワー)ランプ(37ページ)**
電源が入ると点灯(グリーン)します。スリープモード時には点滅(オレンジ)します。

5 **キーボード(31、169ページ)**

6 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)**
(FeliCa機能搭載モデルのみ)
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。
FeliCaについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

7 **タッチパッド(171ページ)**
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

8 **左/右ボタン**
マウスの左/右ボタンに相当します。

1 **WIRELESSスイッチ**

(ワイヤレスLAN機能／Bluetooth(R)機能搭載モデルのみ)
ワイヤレスLANやBluetooth機能をオン／オフします。

2 **指紋センサー(78ページ〜)**

(指紋センサー搭載モデルのみ)
指紋情報を入力することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。

3 **P(プレゼンテーション)ボタン**

プレゼンテーションモードをオン／オフします。
このボタンに割り当てられている機能を変更することもできます。

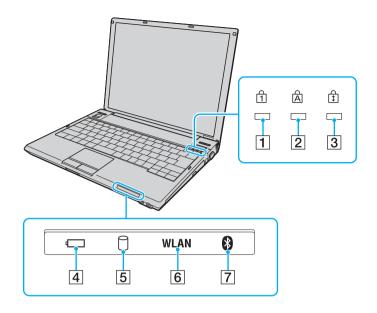
4 **⏏(イジェクト)ボタン**

(ディスクドライブ搭載モデルのみ)
本機を起動し、Windowsにログオンした後に使えます。
通常、ディスクを入れる／取り出す場合はこのボタンをお使いください。

ヒント

このボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してください。(28ページ)

5 **(消音)ボタン**

(ディスクドライブ非搭載モデルのみ)
スピーカーやヘッドホンの音声を入／切します。
このボタンに割り当てられている機能を変更することもできます。

1 (Num Lock)ランプ(31ページ)
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

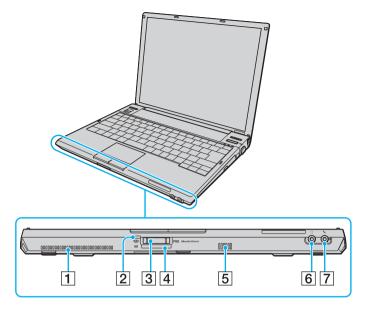
2 (Caps Lock)ランプ(31ページ)
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

3 (Scroll Lock)ランプ(31ページ)
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

4 (バッテリ)ランプ
バッテリの動作状態をお知らせします。

5 (ハードディスク) アクセスランプ
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに点灯します。

6 WLAN(ワイヤレスLAN)ランプ
(ワイヤレスLAN機能搭載モデルのみ)
ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

7 (Bluetooth)ランプ
(Bluetooth(R)機能搭載モデルのみ)
Bluetooth機能が使える状態のときに点灯します。

1 **吸気口**

2 **メモリーカードアクセスランプ**

“メモリースティック”やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

3 **メモリースティックスロット(217ページ)**

“メモリースティック”を挿入します。
“メモリースティック デュオ”もそのままお使いになれます。

4 **SDメモリーカードスロット**

SDメモリーカードを挿入します。

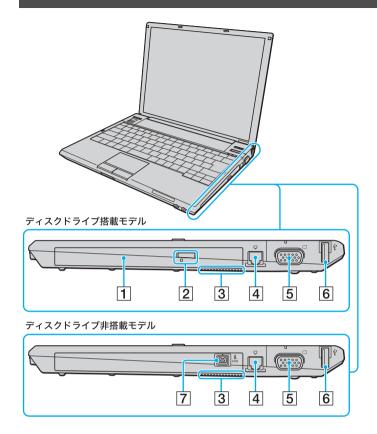
5 **内蔵スピーカー**

6 **(ヘッドホン)コネクタ**

スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

7 **(マイク)コネクタ**

マイクをつなぎます。(ステレオ対応)
ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右下に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

本体右側面

1 **DVDスーパーマルチドライブ**
（ディスクドライブ搭載モデルのみ）
DVDスーパーマルチドライブは、以降ドライブと略します。

2 **ドライブ イジェクトボタン、ドライブ アクセスランプ、マニュアルイジェクト穴**
（ディスクドライブ搭載モデルのみ）

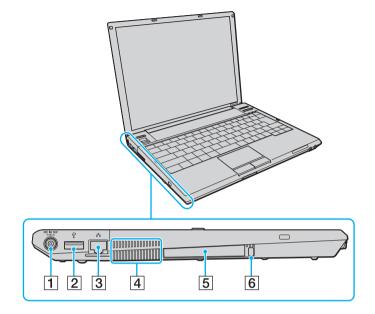
3 **吸気口**

4 **（モジュラジャック）**
電話回線をつなぎます。

5 **（モニタ）コネクタ**
外部ディスプレイやプロジェクタをつなぎます。

6 **（USB）コネクタ（182ページ）**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

7 **S400（i.LINK）コネクタ**
（ディスクドライブ非搭載モデルのみ）
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

本体左側面

1 DC IN 16V ⊖◎⊕ **コネクタ(36ページ)**

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

2 **(USB)コネクタ(182ページ)**

USB規格に対応した機器をつなぎます。

3 **LANコネクタ**

LANケーブルなどをつなぎます。

LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

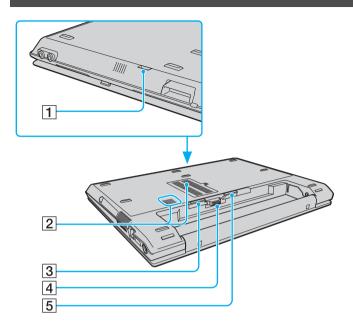
4 **排気口**

5 **PCカードスロット(219ページ)**

PCカードを取り付けます。

6 **PCカード イジェクトボタン**

PCカードを取り出します。

本体底面

1 **水抜き穴(214ページ)**

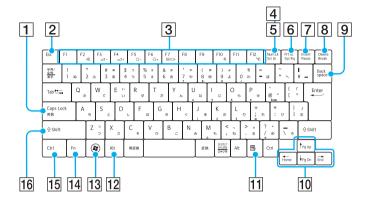
2 **吸気口**

3 **ロックレバー(34ページ)**
バッテリをロックします。

4 **バッテリコネクタ**

5 **RELEASE(リリース)レバー**
バッテリを取りはずします。

キーボード

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 Caps Lock（キャプスロック）キー

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にある （Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

もう一度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、 （Caps Lock）ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

2 Esc（エスケープ）キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

4 Num Lk（ナムロック）キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある （Num Lock）ランプが点灯します。もう一度Num Lkキーを押すと、消灯します。

5 Scr Lk（スクロールロック）キー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの右上にある （Scroll Lock）ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、消灯します。

6 Prt Sc（プリントスクリーン）キー

表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。

7 Insert（インサート）キー

文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

8 Delete（デリート）キー
カーソルの右側の文字を消します。

9 Backspace（バックスペース）キー
カーソルの左側の文字を消します。

10 矢印キー
カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

11 アプリケーションキー
タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

12 Alt（オルト）キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

13 Windows（ウィンドウズ）キー
Windowsのスタートメニューが表示されます。
他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

14 Fn（エフエヌ）キー
キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

15 Ctrl（コントロール）キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。
メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

16 Shift（シフト）キー
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

本機をセットアップする

ステップ1：　電源を入れる

↓

ステップ2：　Windowsを準備する

↓

ステップ3：　基本設定を行う

↓

ステップ4：　カスタマー登録する

↓

ステップ5：　最新情報を自動的に入手する

ステップ1：
電源を入れる

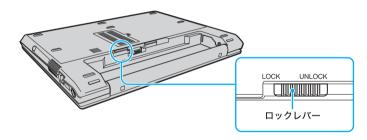
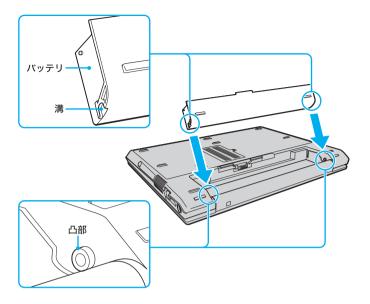
次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

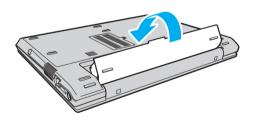
！ご注意
安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリおよびACアダプタをご使用ください。

1　バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

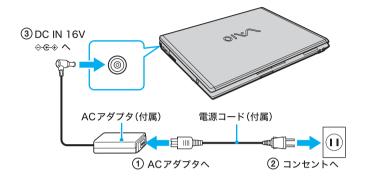
① 液晶ディスプレイを閉じる。

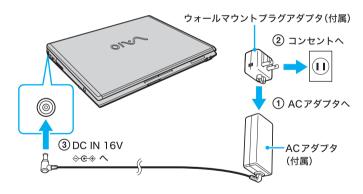
② 本体底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。

③ 本体底面のバッテリ取り付け部両端の凸部とバッテリ両端の溝をあわせる。

！ご注意
バッテリを取り付ける際には、液晶ディスプレイにバッテリをぶつけないようにご注意ください。

④ バッテリを矢印の方向に回転させながら倒す。
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

⑤ ロックレバーを内側（LOCK側）へずらして、バッテリを固定する。

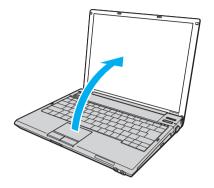
2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

電源コードを使用する場合

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。
② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
③ ACアダプタのプラグを、本体左側面のDC IN 16V コネクタに差し込む。

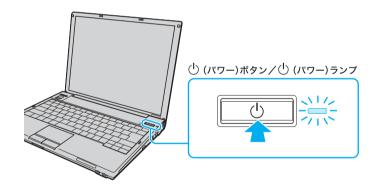
ウォールマウントプラグアダプタを使用する場合

① ウォールマウントプラグアダプタをACアダプタに差し込む。
② ウォールマウントプラグアダプタのプラグを壁のコンセントに差し込む。
③ ACアダプタのプラグを、本体左側面のDC IN 16V コネクタに差し込む。

！ご注意

- ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込んでください。
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。本機以外では使用しないでください。

3 ディスプレイパネルを開く。

4 ⏻(パワー)ボタンを押し、⏻(パワー)ランプが点灯(グリーン)したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

!ご注意
4秒以上⏻(パワー)ボタンを押したままにすると、電源が入りません。
⏻(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。

!ご注意

- 本機の液晶ディスプレイ上面にフロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本体前面のランプ付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スリープモード(お買い上げ時の設定)に移行します。
  本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(40ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ヒント

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープ）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタン*を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタン*を一瞬押してください。

* ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープモードや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
- パフォーマンス設定を変更する
  以下の手順で通常の動作時の消費電力について設定します。

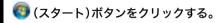
  1) （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO の設定］をクリックする。
     「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
     「VAIO の設定」画面が表示されます。
  2) ［電源・バッテリ］をダブルクリックする。
  3) ［パフォーマンス設定］をダブルクリックする。
     設定画面が表示されます。
  4) ［メモリバス 400MHz - 省電力を優先します。］を選択する。
     お買い上げ時は、［メモリバス 533MHz - パフォーマンスを優先します。］が選択されています。
  5) ［OK］をクリックする。
     確認画面が表示されます。
  6) ［はい］をクリックする。

  ！ご注意

  設定を有効にするには、本機を再起動する必要があります。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを**4**秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1

(スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 ボタン-[シャットダウン]をクリックする。

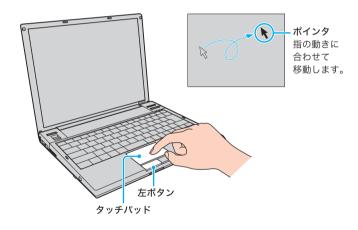
しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、⏻(パワー)ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。

ステップ2:
Windowsを準備する

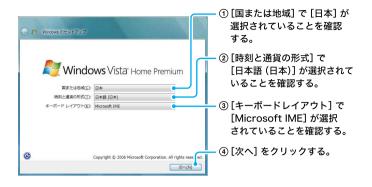
本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント
- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「電源を入れる」(34ページ)をご覧ください。
- この説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。
- Windowsの準備では、インターネットへの接続は必要ありません。

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

1 電源を入れる。

⏻(パワー)ボタンを押し(37ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。
電源を切らずにそのままお待ちください。

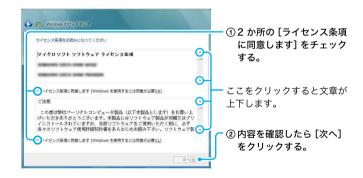
!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ~ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2　設定を開始する。

ヒント

ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

！ご注意

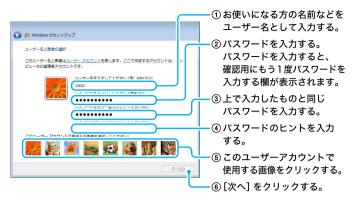
英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。Windowsが起動してから、キーボードの変更を行います。

3　「ライセンス条項」の内容を確認する。

！ご注意

どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント

画面左上の　ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

!ご注意

- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

メモ

ヒント

- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に設定することもできます。
  パスワードの作成／変更／削除について詳しくは、「Windowsパスワードを設定する」(62ページ)をご覧ください。
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます(キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り換えられます)。
  ユーザー名の例：VAIO太郎

5 コンピュータの名前を確認する。

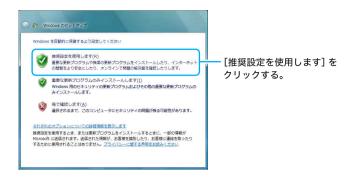
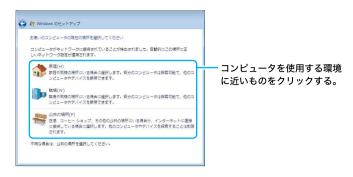
ヒント

コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します] を
クリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と
時刻を確認する。
② [次へ] をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

9 設定を完了する。

［いいえ、後で設定します］を選択して、［開始］をクリックしてください。

ヒント

- Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。
- ［いいえ、後で設定します］の項目は、「VAIOをご使用になる前に」の内容をスクロールバーで下にスクロールすると現れます。

セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

ヒント

「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。引き続き、ステップ3～ステップ5を行ってください。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」（39ページ）をご覧ください。

！ご注意
本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

英語配列キーボードをご使用のお客様へ

本機で英語配列キーボードをお使いの場合、お客様ご自身によるドライバの設定変更が必要です。設定変更の手順については「よくあるトラブルと解決方法」の「文字入力／キーボード」にある「Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。」（170ページ）をご覧ください。

ヒント
英語配列キーボードかどうかは半角／全角｜漢字キーの有無で確認できます。
英語配列キーボードには、半角／全角｜漢字キーがありません。

ステップ3:
基本設定を行う

バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット/メール」の章(56ページ)をご覧ください。

VAIOをはじめる前の準備を行う

「VAIO をはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[VAIO をはじめる前の準備]をダブルクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO をはじめる前の準備」が表示されます。

ヒント
「VAIO をはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

ステップ4：

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、より充実したサービスサポートを受けることができます。
「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、「My Sony ID」を使用したご登録者限定メニューがご利用いただけます。

ヒント

- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（191ページ）までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通体系のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。
  また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

！ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供
② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供
③ 特典情報やキャンペーンなど、バイオに関するさまざまな情報を提供

❑ ご利用いただけるサポート

- **フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせ**
  使いかたに関するお問い合わせ窓口（VAIOカスタマーリンク使い方相談窓口）がフリーダイヤルでご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。
  24時間ご利用可能です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながらご案内します。
- **テクニカルWebサポート**
  バイオに関する使いかたなどの質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でバイオに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
- VAIOソフトウェアセレクション（ソフトウェア・ダウンロード販売サイト）

※2008年2月現在
ご利用いただけるサポートや有料サービスについて詳しくは、203ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

！ご注意

- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

！ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。この場合は「MyVAIO」（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO）の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示された番号は、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。

ヒント

「My Sony ID」は、登録メールアドレスに送信されます。

ステップ5:
最新情報を自動的に入手する（「VAIO Update」プリインストールモデル）

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」とは、ソニーが提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にする「アップデートプログラム」などの情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント
- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。（インターネットの通信費はお客様負担となります。）
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Update 3]－[VAIO Updateの設定]をクリックする。

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。

3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

「VAIO Update」を利用する

1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

2 「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。

- 自動アップデート：
  ダウンロードとインストールを自動で行います。
- 手動アップデート：
  ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。

ヒント

- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページをご覧ください。

❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。

- 「リカバリディスクを作成する」（114ページ）をご覧ください。

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- VAIOカスタマーリンクのホームページ（185ページ）をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［Windows Update］をクリックする。

電子マニュアルの使いかた

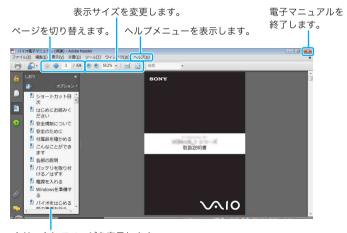
この説明書に記載されている以外のさらに詳しい情報は「VAIO 電子マニュアル」に掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を見るには、本機の電源が入っている状態で次のように操作します。

1　（スタート）－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックする。

「Adobe Reader」ソフトウェアが起動し、「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

ヒント
「Adobe Reader」ソフトウェアをはじめて起動したときは、使用許諾契約書が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

2　見たいページを表示する。

しおりをクリックしたり、ページ切り替えボタンをクリックします。
詳しくは、「Adobe Reader」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

（画面は実際と異なる場合があります。）

インターネット／メール

インターネットとは

インターネットとは

インターネットとは、電話回線などで結ばれたコンピュータ同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定が必要です。
なお、はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
  通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネットに接続する

1 接続する回線を決める。

「インターネット接続サービスの種類」を参考にして接続する回線を決めてください。

2 プロバイダと契約する。

接続する回線のサービスを提供しているプロバイダの中から入会するプロバイダを選び、契約してください。

ヒント
契約が完了すると、プロバイダからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

3 本機と回線装置などを接続する。

プロバイダから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続します。

4 接続設定を行う。

プロバイダから送られてきたマニュアルに従って、接続の設定を行います。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダ接続情報（アカウント名、パスワード、DNSサーバなど）	プロバイダ
メール設定情報（メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダ
パソコン側の設定	VAIOカスタマーリンク

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピュータウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。（「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェア搭載モデルのみ）
「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。
Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（40ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意
Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報　http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティ専用窓口

- 電話番号
  0120-70-8103（フリーダイヤル）
  ※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466)30-3016（通話料お客様負担）
- 受付時間
  平日：9時～18時
  土曜、日曜、祝日：9時～17時
  （年中無休）
  年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

パスワード／TPM ／指紋認証

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント

- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）
（指紋センサー搭載モデル）
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録するには

1 （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

6 [パスワードの作成]をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて[はい、個人用にします]または[いいえ]をクリックしてください。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

文字（アルファベットの大文字）
A, B, C, D, E ...
文字（アルファベットの小文字）
a, b, c, d, e ...
数字
0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
記号（文字または数字として定義されないもの）
` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] \ | : ; " ' < > , . ? /

Windowsパスワードを変更するには

1 （スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除するには

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの削除]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

パワーオン・パスワードを設定する

BIOSの機能でパワーオン・パスワードを設定します。
本機を起動してVAIOのロゴマークが表示された後に、設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。
パワーオン・パスワードには、通常ユーザーが利用するユーザーパスワードと、BIOS設定の変更ができるマシンパスワードの2種類があります。

!ご注意
パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(87ページ)
(指紋センサー搭載モデル)

パワーオン・パスワード(マシンパスワード)を登録するには

ヒント
パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を設定するには、パワーオン・パスワード(マシンパスワード)の設定が必要です。

1 **本機の電源を入れる。****(34ページ)**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。

4 **パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。**

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

5 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

スペースキーを押して[Disabled]から[Enabled]に変更します。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を登録するには

ヒント
パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を設定するには、パワーオン・パスワード(マシンパスワード)の設定が必要です。

1 本機の電源を入れる。(34ページ)

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード（マシンパスワード）を変更する／削除するには

1 本機の電源を入れる。（34ページ）

（34ページ）

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

4 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Set Machine Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

［Enter Current Password］に現在のパスワードを、［Enter New Password］と［Confirm New Password］に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、［Enter New Password］と［Confirm New Password］には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード（ユーザーパスワード）を変更する／削除するには

1 本機の電源を入れる。（34ページ）

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力する。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

4 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Set User Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

［Enter Current Password］に現在のパスワードを、［Enter New Password］と［Confirm New Password］に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、［Enter New Password］と［Confirm New Password］には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを設定する

ハードディスク・パスワードは、内蔵フラッシュメモリー搭載モデルでも使用することができます。

BIOSの機能でハードディスク・パスワードを設定できます。

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- **マスターパスワード(管理者用)**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- **ユーザーパスワード**
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

!ご注意

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- **パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが使用できなくなります。**
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD/DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。
    VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのみに有効です。外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

ヒント
- パスワードを無断で設定・変更・無効化されることのないよう、BIOSセットアップ画面を操作中は本機から離れないでください。
- ハードディスク・パスワード（ユーザーパスワード）は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）（指紋センサー搭載モデル）

ハードディスク・パスワードを登録するには

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に登録します。

1　本機の電源を入れる。（34ページ）

2　VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント

パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3　←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4　［Enter Master and User Passwords］を選択してEnterキーを押す。

警告画面が表示されるので、［Continue］を選択してEnterキーを押してください。

5 マスターパスワードを入力してEnterキーを押し、続けてユーザーパスワードを入力してEnterキーを押す。

!ご注意
マスターパスワードとユーザーパスワードはそれぞれ2度ずつ入力する必要があります。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを変更するには

1 本機の電源を入れる。(34ページ)

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4 [Change Master Password]または[Change User Password]を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

!ご注意
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

[Enter Current Hard Disk Master Password]または[Enter Current Hard Disk User Password]に現在のパスワードを、[Enter New Hard Disk Master Password]または[Enter New Hard Disk User Password]と[Confirm New Hard Disk Master Password]または[Confirm New Hard Disk User Password]に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを削除するには

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に削除します。

1 本機の電源を入れる。（34ページ）

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

5 ［Enter Current Hard Disk Master Password］に現在のマスターパスワードを入力し、他の項目は何も入力せずにEnterキーを押す。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

TPMを使う
（TPMセキュリティチップ搭載モデル）

TPM（Trusted Platform Module）の機能を使うと、セキュリティの基本機能が提供され、データの暗号化や復元を行ってセキュリティを強化することができます。

* TPMは、TCG（Trusted Computing Group）により定義されています。

！ご注意

- 本機は、TPMを用いたセキュリティ機能を搭載していますが、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。
  TPMの使用によるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を修理などに出す場合、TPM内およびハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータなどは、お客様にてバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  修理により、万一データが消失した場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の修理の際にメイン基板を交換する場合は、TPMも交換されます。
- TPMに関するデータの保守・運用は、お客様にて行ってください。TPMに関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Infineon TPM Professional PackageでTPMを設定する

Infineon TPM Professional Packageを使うと、TPM機能を使用したデータの暗号化や復号化ができます。

！ご注意

- TPMの初期化を行う場合、設定したパスワードはメモを取るなどして、忘れないようにしてください。メモしたパスワードを他人に知られないように管理してください。
  パスワードを忘れた場合、TPMで保護されたデータはいかなる手段を用いても復元することはできません。
- TPMの初期化を行う際に保存するシステムバックアップアーカイブ、緊急時復元用トークン、パスワードリセット用トークン、個人シークレットファイルなどは、必ずバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  これらのファイルを紛失した場合、TPM設定の復元やパスワードリセットなどの機能が使用できなくなる場合があります。
- ユーザーの初期化を行う場合、初期化ウィザード終了後に自動バックアップの設定を必ず行ってください。
  また、この設定終了時の画面で、「自動バックアップを今すぐ起動」をチェックし、バックアップファイルを更新してください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。

キーの暗号化に対するご注意

TPMソフトウェアがインストールされている環境で、プラットフォームの初期化が終わり、かつユーザーの初期化の際にEFS機能が選択されている状態で、下記フォルダ内に作成されているファイルをEFSで暗号化すると、TPMソフトウェアが正常に起動しなくなり、暗号化したデータを復号できなくなります。
なお、初期状態においては、下記フォルダ内のファイルはシステム属性を持たせることにより暗号化されるのを防いでいます。
下記のフォルダやファイルの属性を変更しないでください。

- C:¥ユーザー¥All Users¥Infineon¥TPM Software 2.0フォルダ内のBackupData、PlatformKeyData、RestoreData
- C:¥ユーザー¥<account>¥AppData¥Roaming¥Infineon¥TPM Software 2.0¥UserKeyData

ヒント

- Windowsの初期設定の状態では、上記のフォルダは参照できません。
- C:¥ユーザー¥All Usersは、C:¥ProgramDataへのショートカットです。

バックアップファイルやその他ファイルの暗号化に対するご注意

アーカイブ、バックアップ、トークンファイルを暗号化すると、緊急時に復元ができなくなります。
またパスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化すると、パスワードのリセットができなくなります。
以下のファイルまたはフォルダを暗号化しないでください。

- 自動バックアップファイル
  - デフォルトファイル名：SPSystemBackup.xml
- 自動バックアップデータ格納フォルダ
  - フォルダ名（固定）：SPSystemBackup（SPSystemBackup.xmlファイルが作成されるフォルダのサブフォルダとして作成されます。）
- 復元用トークン
  - デフォルトファイル名：SPEmRecToken.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- パスワードリセットトークン
  - デフォルトファイル名：SPPwdResetToken.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- パスワードリセットシークレットファイル
  - デフォルトファイル名：SPPwdResetSecret.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- キーと証明書用バックアップ
  - デフォルトファイル名：SpBackupArchive.xml
- **PSD** バックアップ
  - デフォルトファイル名：SpPSDBackup.fsb

ヒント

デフォルトパスが指定されていないファイルは、[参照]をクリックしたときに「ユーザーフォルダ」¥ドキュメント¥Security Platform が開きます。

！ご注意

誤って上記フォルダをEFS暗号化した場合やTPMソフトウェアのアーカイブ、バックアップ、トークンファイル、パスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化した場合、当社でデータを復元することはできません。
また、この場合のいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Personal Secure Drive（PSD）に関するご注意

Personal Secure Drive（PSD）はシステムによってあらかじめ使用されている領域があるため、実際に使用できる容量は設定時の初期値より約10 MB以上少なくなります。（PSDのサイズが大きくなるとあらかじめ使用されている領域も増えます。）

基本ユーザーパスワードの有効期限に関するご注意

基本ユーザーパスワードの有効期限の初期値は、[無期限]になっています。

ステップ1：BIOS設定でTPMを有効にする

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されなかった場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで[TPM State]を選択し、表示された画面で「Change TPM State」を[Enabled]にする。**

4 **←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。**

5 **本機が再起動した後、「Physical Presence Operations」画面が表示されるので、[Execute]を選択する。**

ヒント

BIOS設定内では、次の設定ができます。

- TPMを有効にする。
- TPMを無効にする。
- TPMの設定をクリアする。

* 設定をクリアした場合、TPMで暗号化されているデータに再びアクセスすることはできません。TPMで暗号化されているデータが残っている場合は、必要に応じてデータのバックアップなどを行ってから、設定をクリアしてください。

！ご注意

TPMを有効にする場合は、設定を第三者に変更されることのないようパワーオン・パスワードを設定してください。（65ページ）

ステップ2:「Infineon TPM Professional Package」をインストールする

「C:¥Infineon¥Readme」のフォルダ内にあるReadme.txtファイルをよくお読みになった後、「C:¥Infineon¥setup.exe」にあるインストーラをダブルクリックしてインストールを行ってください。

！ご注意

この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ステップ3:TPMの初期化・設定を行う

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Infineon Security Platform ソリューション]－[ヘルプ]をクリックして表示されるヘルプをご覧いただき、お客様に必要な設定を行ってください。

！ご注意

- 初期化ウィザード終了後には、次の手順で必ず自動バックアップの設定をしてください。
  1) デスクトップ画面右下の通知領域にある(TPMアイコン)を右クリックして表示されるメニューから、Windowsのマークの付いた[Security Platform を管理する]を選択する。
  2) 表示された画面の[バックアップ]タブをクリックして、[設定]をクリックする。
  3) 自動バックアップのスケジュールなどを設定する。
     設定終了時に[自動バックアップを今すぐ起動]チェックボックスが表示された場合はチェックをつけ、バックアップファイルを更新してください。
     これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。
- 設定したパスワードを忘れたり、バックアップファイルを紛失したりすると、TPMで保護されたデータを復元することができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  また、バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。

指紋認証を使う（指紋センサー搭載モデル）

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。また、指紋認証によって、便利な機能を使用することもできます。「指紋認証でできること」（79ページ）をご覧ください。

ヒント

指紋の登録については「指紋を登録するには」（82ページ）をご覧ください。

!ご注意

- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。また、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。
  本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害についても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋の認証率は、使用状況などにより異なります。また個人差があります。
- 修理などに出す前に、File Safeで暗号化しているデータなどは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。修理により、万一データが消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の修理などを行った場合、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化して返却する場合があります。その場合は、登録済みのお客様の指紋情報などは復元することはできませんのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証機能に関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次のような場合は、指紋センサーの故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサーの表面を硬いものや先のとがったものなどで傷つけた場合
  - 泥などの汚れがついた指でスキャンするなど、細かい異物などで表面を傷つけた場合
- 冬期など特に乾燥する時期は、金属に触れて体の静電気を逃がしてからスキャンしてください。静電気で指紋センサーが故障するおそれがあります。

指紋認証でできること

本機では、指紋認証を使用して便利な機能を使用することができます。

！ご注意

指紋認証を使用するには、あらかじめ指紋を登録しておく必要があります。（82ページ）

パスワードの解除

- **Windowsにログオンする**

  指紋が登録されているユーザーのアカウントに対して、Windowsログオン時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、Windowsにログオンすることができます。（87ページ）

  ！ご注意

  指紋認証を使用してログオンする場合、通常の操作でログオンしてください。（Ctrlキー＋Altキー+Deleteキーを押すことを促すメッセージを表示しないログオンを使用してください。）

  ヒント

  複数のユーザーで使用している場合でも、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンします。

- **パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンする**

  パワーオン・パスワード（65ページ）やハードディスク・パスワード（69ページ）を設定している場合は、システム起動時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、パスワードを解除することができます。（87ページ）

ヒント

これらのパスワード解除は、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

パスワードバンク

Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。（92ページ）

ヒント

- パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることもできます。
- アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

！ご注意

- パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定しておく必要があります。
- Webページによっては、パスワードバンク機能が正しく動作しない場合があります。

File Safe

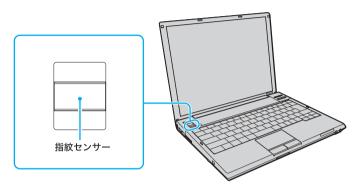
File Safe機能を用いて、ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。
指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダにアクセスできるようになります。（96ページ）

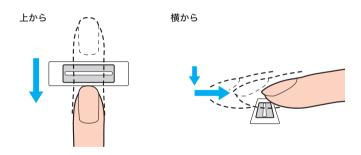
アプリケーションランチャー

指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。（98ページ）

指紋をスキャンするには

指紋の登録や認証時のスキャンは、以下の手順で行います。

1 指の第一関節付近を指紋センサーの上に置く。

ヒント
- 指は指紋センサーの上に平たく置いてください。
- 指は指紋センサーの中央に置いてください。

2 指を直線状に手前に向かってスライドする。

! ご注意
- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 指のスライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できない場合があります。
  1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋認証時のご注意

指の状態について

指の状態が次のような場合は、指紋の認証が困難になる場合があります。
なお、他の指を使用したり、手を洗うなどして通常状態に戻してから指紋認証を行うことで改善される場合もあります。

- 乾燥している場合
- 汗や脂が多かったり、濡れている場合
- お風呂上りなどで指がふやけている場合
- 手が荒れていたり、指にけが（切り傷など）をしている場合
- 汚れている場合
- 指紋が薄かったり、しわが多い場合　など

スキャンについて

スキャンを行うときは、次の点にご注意ください。

- 指を指紋センサーの中央に平たく置いてください。
- 指の第一関節より上部をスキャンしてください。
- 指を指紋センサーに垂直な状態でスライドさせてください。
- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋センサーのお手入れ

指紋センサーの表面の指紋やほこりが原因で、指紋認証率が低下したりする場合があります。

- 普段のお手入れは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。

指紋を設定する

本機は指紋認証を行うことで、パスワードの入力を省略することができます。

！ご注意

- けがなどに備えて、複数の指を登録するようにしてください。
- 指紋の状態や使用状況などにより、指紋の登録ができない場合があります。
- 指紋はひとりに対して10個まで登録できます。ただし、パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は最大21個までとなります。また、パワーオンセキュリティで使用する指をあとから指定することもできます。
- 指紋を登録する前に、Windowsのパスワードを設定してください。（62ページ）

指紋を登録するには

次の手順で指紋の登録を行ってください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]ー[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [指紋]をクリックする。

3 [初期化]をクリックする。

「指紋ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

4 「使用許諾契約書」の内容を確認して、[使用許諾契約書に同意します]の をクリックして にし、[OK]をクリックする。

「ようこそ」画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

「終了」画面が表示されます。

6 「ハードディスクへの登録」が選択されていることを確認して[完了]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

ヒント
本機では、[バイオメトリックスデバイスへの登録]は選択できません。

7 [次へ]をクリックする。

「パスワード」画面が表示されます。

ヒント
Windowsのパスワードを設定していない場合は、メッセージが表示されます。
パスワードを設定してください。
① 「今パスワードを登録しますか？」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
② パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

8 Windowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

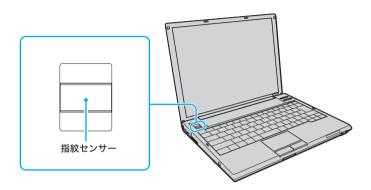
9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

「指紋チュートリアル」画面が表示されます。

10 内容をよく確認し、[次へ]をクリックする。

ヒント
この画面には、指紋スキャン時のヒントを表示しています。表示された内容をよくご確認ください。
また、[ビデオ再生]をクリックすると、動画で詳細を表示します。

11 スキャンテストを行う。

スキャンテストは4回行います。
手順10で確認した方法で、指紋センサーに指をスライドさせてください。

スキャンテストを4回行ってもうまくいかなかった場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

ヒント

- スキャンの方法は「指紋をスキャンするには」(80ページ)でも紹介しています。
- テストは同じ指で行ってください。
- スキャンをやり直したい場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

12 [次へ]をクリックする。

「登録」画面が表示されます。

13 登録する指を選択し、指紋を登録する。

① 登録したい指のボタンをクリックする。

② 登録する指の指紋を3回スキャンする。
　スキャンを終了すると、「登録」画面に戻ります。

③ [次へ]をクリックする。

ヒント

複数の指を登録する場合は、この手順をくり返して行います。2本以上の指を登録することをおすすめします。

14 [完了]をクリックする。

15 [閉じる]をクリックする。

以上で指紋の登録は完了です。
本機の次回起動後や休止状態から復帰した場合は、パスワード入力の代わりに、登録した指を指紋センサーにスライドさせて認証を行うことができます。

指紋を追加登録する／編集するには

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]ー[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [指紋]をクリックする。

3 [指紋の登録、または編集]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

5 「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

6 「指紋を登録するには」の手順9以降の操作を行う。

ヒント
「指紋を登録するには」の手順12で、まだ登録していない指のボタンをクリックすると追加登録ができます。
また、すでに指紋が登録してある指のボタンをクリックすると削除することができます。

指紋を削除するには

コンピュータを廃棄あるいは第三者に譲渡するときなどには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを消去した後、以下の手順に従って指紋センサー内の指紋データも同時に消去することを強くおすすめします。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で↓キーを押して[Clear Fingerprint Data]を選択してEnterキーを押す。**

本機が再起動して、指紋センサー内に保存されている指紋データが消去されます。

指紋認証でシステムにログオンする

Windowsにログオンするには

指紋が登録されているユーザーのアカウントにログオンする場合、Windowsログオン時のパスワード入力を指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

1 **Windowsのログオン画面が表示されたら、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。****（80ページ）**

Windowsにログオンします。

ヒント
複数のユーザーで使用している場合でも、登録してある指をスライドするだけで、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンすることができます。

パワーオンセキュリティを使うための設定をするには

パワーオン・パスワードやハードディスク・パスワードの設定を行っている場合は、システム起動時のパスワード入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。
設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード(65ページ)やハードディスク・パスワード(69ページ)を設定しておく必要があります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]－[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [パワーオンセキュリティ]をクリックする。

「パワーオンセキュリティ」画面が表示されます。

4 [指紋によるパワーオンセキュリティを有効にする]チェックボックスをクリックしてチェックし、[OK]をクリックする。

5 「指紋コントロールセンター」画面の[指紋]をクリックする。

6 [指紋の登録、または編集]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

7 [次へ]をクリックする。

8 「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[次へ]をクリックする。

ヒント

パワーオン指紋セキュリティメモリに空きがある場合、メッセージが表示されます。

10 パワーオンセキュリティで使用する指のボタンをクリックし、表示された確認画面で[はい]をクリックする。

ヒント

登録されている指がすでにパワーオン指紋セキュリティメモリにある場合、ボタンは表示されません。

11 [次へ]をクリックする。

12 [完了]をクリックする。

パワーオンセキュリティで使用しない指を指定するには

指紋によるパワーオンセキュリティを有効にしている状態(設定)から指を追加登録すると、追加登録した指はパワーオンセキュリティで使用する指として設定されます。登録されている指の中から、パワーオンセキュリティで使用したくない指がある場合は、削除することができます。以下の手順に従って削除してください。

ヒント

設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード(65ページ)やハードディスク・パスワード(69ページ)の設定、パワーオンセキュリティを使うための設定をしておく必要があります。

1 (スタート)ボタン−[すべてのプログラム]−[Protector Suite QL]−[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [パワーオンセキュリティ]をクリックする。

「パワーオンセキュリティ」画面が表示されます。

4 「パワーオンセキュリティで認証されている指紋」の中から、パワーオンセキュリティで使用したくない指を選択し、[削除]をクリックする。

パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンするには

1 本機の電源を入れる。（34ページ）

（34ページ）

VAIOのロゴマークが表示されたあと、認証画面が表示されます。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

パスワードを入力せずに、システムにログオンします。

ヒント

- Deleteキーを押すと、指紋認証画面がキャンセルされ、通常とおりにキーボードからパスワードを入力することもできます。
- パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は、最大で21個までとなります。

指紋認証のパスワードバンクを使う（指紋センサー搭載モデル）

パスワードバンクを設定すると、Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

！ご注意
パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定をしておく必要があります。

パスワードバンクを設定するには

1 パスワードバンクに登録したいアカウントやパスワードの入力画面を表示する。

2 登録したい情報（アカウントやパスワードなど）を入力する。

3 入力画面が選択されている状態で、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（80ページ）

バイオメトリックメニューが表示されます。

4　[登録…]を選択する。

5　表示された画面で[継続]をクリックする。

登録が完了すると、タイトルバーにメッセージがバルーン表示されます。

ヒント
登録内容は、メッセージ内の[登録の詳細]をクリックして表示された画面で確認することができます。
また、この画面で登録内容を編集することもできます。

！ご注意
パスワードバンクを利用して、TPMのパスワードを入力または保存することは絶対にしないでください。（TPMセキュリティチップ搭載モデル）

パスワードバンクを利用するには

1　パスワードバンク設定済みのウィンドウを表示させる。

2　指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（80ページ）

確認画面が表示されます。

3　[はい]をクリックする。

アカウントやパスワード欄に自動で入力が行われます。

ヒント
「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、[はい]や[OK]をクリックしてください。

ヒント
アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

パスワードバンクをエクスポート／インポートするには

パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることができます。

エクスポートするには

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]－[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [登録]タブをクリックする。

6 リストからエクスポートしたい登録名を選択して、[エクスポート ...]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

7 任意の名前を付けて[保存]をクリックする。

「ファイルパスワードを登録」画面が表示されます。

8 パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

エクスポートが行われます。

9 [OK]をクリックする。

インポートするには

1 (スタート)ボタン−[すべてのプログラム]−[Protector Suite QL]−[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [登録]タブをクリックする。

6 [インポート ...]をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

7 エクスポートされたファイルを選択して、[開く]をクリックする。

「ファイルパスワードを登録」画面が表示されます。

8 エクスポート時に設定したパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

インポートが行われます。

9 [OK]をクリックする。

指紋認証のFile Safeを使う（指紋センサー搭載モデル）

File Safe機能を用いて、ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。
また指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダにアクセスできるようになります。

ファイルの暗号化を行うためには

新しいFile Safeアーカイブを作成する（新規にファイルやフォルダを暗号化する）

1 暗号化するファイルまたはフォルダを右クリックして表示されたメニューから、[新しい暗号化アーカイブに追加]をクリックする。

2 アーカイブのファイル名とバックアップパスワードの設定を行い、[OK]をクリックする。

暗号化が開始されます。
暗号化が終了すると、元のファイルの取り扱いを選択するメッセージが表示されます。

3 元のファイルを削除する場合は[元のファイルを削除]を、元のファイルを削除しない場合は[元のファイルを維持]をクリックする。

ヒント
作成されるアーカイブの拡張子は、「*.uea」（複数ファイル、あるいはフォルダの場合）または「*.ueaf」（単一ファイルの場合）になります。

既存のFile Safeアーカイブにファイルまたはフォルダを追加する

1 暗号化するファイルまたはフォルダを右クリックして表示されたメニューから、[既存の暗号化アーカイブに追加]をクリックする。

ファイルを選択するウィンドウが表示されます。

2 ファイルを追加するアーカイブ（*.uea）を選択し、[開く]をクリックする。

3 指紋認証を要求されるので、ログオンしているアカウントに登録してある指をスキャンする。

暗号化が開始されます。
暗号化が終了すると、元のファイルの取り扱いを選択するメッセージが表示されます。

4 元のファイルを削除する場合は[元のファイルを削除]を、元のファイルを削除しない場合は[元のファイルを維持]をクリックする。

ヒント
アーカイブファイルがアンロックされている場合、アーカイブファイルに対して通常のファイル操作のようにドラッグアンドドロップしてファイルやフォルダを追加することもできます。

File Safeの暗号化アーカイブをアンロック／ロックするには

File Safeの暗号化アーカイブをアンロックする

1 アンロックするアーカイブファイルを右クリックして表示されたメニューから、[アンロック]をクリックする。

2 指紋認証が要求されるので、ログオンしているアカウントに登録してある指をスキャンする。

ヒント
アーカイブファイルがアンロックされると、アーカイブファイルは通常のファイルやフォルダの様にアクセスできるようになります。

File Safeの暗号化アーカイブをロックする

1 ロックするアーカイブファイルを右クリックして表示されたメニューから、[ロック]をクリックする。

ヒント

File Safeについての詳しい情報は、「Protector Suite QLのヘルプ」をご覧ください。((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]－[ヘルプ]をクリックして表示する。)

指紋認証のアプリケーションランチャーを使う（指紋センサー搭載モデル）

アプリケーションランチャーでは、指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。

アプリケーションを関連付けるには

アプリケーションランチャーを使用するには、はじめにすでに指紋センサーに登録している指とアプリケーションの関連付けを行います。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Protector Suite QL］－［コントロールセンター］をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 ［設定］をクリックする。

3 ［ユーザー設定］をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 ［アプリケーション］タブをクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

6 [追加...]をクリックする。

!ご注意

- この設定を追加するには、アプリケーションと関連付けを行っていない指紋を2つ以上登録しておく必要があります。
- メニューリストを表示するために、アプリケーションと関連付けを行っていない指紋を最低1つは残しておく必要があります。

7 指紋とアプリケーションを関連付ける。

割り当てる指やアプリケーションなどを指定してください。

8 [OK]をクリックする。

アプリケーションを起動するには

指紋センサーに指をスライドさせることで、その指と関連付けられているアプリケーションが起動します。

ヒント

アプリケーションと関連付けされていない指を指紋センサーにスライドさせた場合は、メニューリストを表示します。

アプリケーションの関連付けを変更するには

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]ー[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [アプリケーション]タブをクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

6 アプリケーションの関連付けを編集したい指を選択して、[編集...]をクリックする。

7 指紋とアプリケーションの関連付けを変更する。

割り当てる指やアプリケーションなどを指定し直してください。

8 [OK]をクリックする。

アプリケーションの関連付けを解除するには

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Protector Suite QL］－［コントロールセンター］をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 ［設定］をクリックする。

3 ［ユーザー設定］をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 ［アプリケーション］タブをクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

6 アプリケーションの関連付けを解除したい指を選択し、［削除...］をクリックする。

7 ［OK］をクリックする。

指紋認証でTPMを使う
（TPMセキュリティチップおよび指紋センサー搭載モデル）

TPMによる暗号化によって、指紋認証のセキュリティを強化することができます。

！ご注意

- TPMによる暗号化で、指紋認証のセキュリティを強化することができますが、ログオン時の指紋認証が有効になるまでの時間がかかったり、設定によってはPIN入力の必要な場合があります。
- TPMの設定を変更してしまったり、TPMが壊れてしまったりした場合、指紋認証が使えなくなる場合があります。
- TPMを使用したことによるいかなる障害・損害について、あるいは指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- TPMを使った指紋認証のセキュリティの強化を行う場合には、その利点と欠点をご理解の上、ご使用いただくようにお願いします。

TPMを使用する前の準備

指紋認証でTPMを利用する場合は、あらかじめTPMのソフトウェアのインストールとTPMの初期化の処理をお客様ご自身で行っていただく必要があります。
TPMのソフトウェアのインストールとTPMの初期化の処理について詳しくは、「TPMを使う」（74ページ）をご覧ください。

TPMの初期化を行うには

！ご注意

この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［Protector Suite QL］ー［コントロールセンター］をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 ［ユーザーの管理者権限の昇格］をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面がいったん閉じた後、再び表示されます。

3 ［設定］をクリックする。

4 **[システム設定]をクリックする。**

「システム設定」画面が表示されます。

5 **[TPM]タブの[TPMを初期化]をクリックする。**

「拡張セキュリティ初期化ウィザード」画面が表示されます。

6 **[次へ]をクリックする。**

7 **初期化処理の終了後、[完了]をクリックする。**

TPMの設定を行うには

1 **(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]ー[コントロールセンター]をクリックする。**

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 **[指紋]をクリックする。**

3 **[指紋の登録、または編集]をクリックする。**

「ユーザー登録」画面が表示されます。

4 **[次へ]をクリックする。**

5 **[Windowsパスワードを入力]を選択してWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。**

6 [対話型インタラクティブチュートリアルを実行]チェックボックスにチェックをつけずに、[次へ]をクリックする。

「登録」画面が表示されます。

7 [次へ]をクリックする。

「拡張セキュリティ」画面が表示されます。

8 [現在のユーザーの拡張セキュリティを有効にする]チェックボックスをクリックしてチェックする。

9 「拡張セキュリティタイプ」の設定を行う。

リストの右側に表示される解説を参考にして、用途にあった設定を選択してください。

10 「バックアップパスワード」の設定を行う。

!ご注意
- この設定は、必ずしも行う必要はありません。
- この設定を行った場合セキュリティの機能は低下しますが、設定を行っておかないと、TPMが故障した場合などにデータが失われる可能性があります。
- パスワードは、他人に知られないように厳重に管理してください。

11 設定が終わったら、[次へ]をクリックする。

「終了」画面が表示されます。

12 [完了]をクリックする。

13 手順9で「TPMキー(PINあり)」を指定した場合、PIN設定を求められるので、PINの設定を行い、[OK]をクリックする。

Windowsにログオンするには

1 Windowsのログオン画面が表示されたら、「TPMの暗号化が進行中」というメッセージが閉じるまで待つ。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

3 「TPMキー(PINあり)」の設定の場合、PIN設定を求められるので、設定してあるPINを入力する。

Windowsにログオンします。

ヒント
複数のユーザーで使用している場合でも、登録してある指をスライドするだけで、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンすることができます。

増設／バックアップ／リカバリ

メモリモジュールを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
お使いの機種のメモリについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

メモリを取り付けるには

！ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリを取り付けた状態でメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

底面のネジ（矢印部分の1か所）をプラスドライバーで取りはずします。

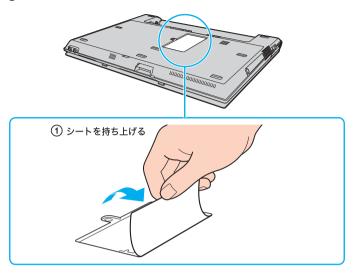
！ご注意

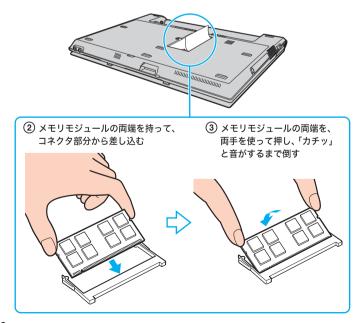
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- はずしたネジが、周囲のすき間から機器内に落ちないようご注意ください。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4 メモリモジュールを取り付ける。

① シートをつまんで持ち上げる。

② メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

③「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いIC部分には触らないでください。

！ご注意

- シートを持ち上げすぎて、はずしたり折り目をつけたりしないようにしてください。
- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6 手順1でとりはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

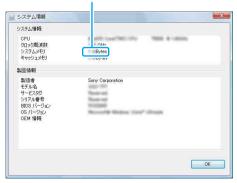
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]－[システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

メモリを取りはずすには

！ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

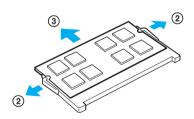
2 **「メモリを取り付けるには」の手順2を行う。**

3 **本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。**

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① シートをつまんで持ち上げる。

② メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

③ メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 **ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。**

5 **手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。**

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- ファイルのバックアップ
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」(119ページ)をご覧ください。
- **Complete PC バックアップ**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」(121ページ)をご覧ください。
- 復元ポイント
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」(123ページ)をご覧ください。

ヒント

CD／DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。

!ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。（140ページ）
  リカバリディスクの作成方法については、下記の「リカバリディスクを作成する」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページの「バックアップ講座」でも、データ別のバックアップ方法や復元方法などの情報をご紹介しています。
バックアップ講座のページ　http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/backup.html

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」（131ページ）をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。（47ページ）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。ディスクの作成に失敗することがあります。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。

！ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（225ページ）をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

ヒント

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

5 [次へ]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

- リカバリディスクの作成状況が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント

「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* お買い上げ時の設定が1つのパーティション(C:ドライブ)のみの場合は、C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(145ページ)
ただし、万一ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが故障した場合はデータが失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント

スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。
スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意

- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元センター」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [コンピュータのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

！ご注意
Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

!ご注意

- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
  システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。

③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

6 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

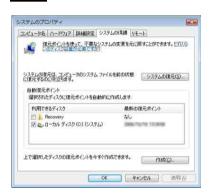
ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

❏ Windowsが起動する場合は

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント

ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(140ページ)

4 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3〜8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

! ご注意

- ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にプログラムの削除を行ってください。正常に復元できない場合があります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ（再セットアップ）

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」（130ページ）をご覧ください。

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。（**114**ページ）

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。（**119**ページ）

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。（125ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。（127ページ）
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。（122ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

手順4

それでも本機の調子が悪い場合は、「Windowsからリカバリするには」(133ページ)の手順に従ってリカバリする。

!ご注意

リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1

以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。(125ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。(122ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。(140ページ)

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2

データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。(140ページ)

本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3

「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。

「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーなど)の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4
「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(136ページ)の手順に従ってリカバリする。

!ご注意
リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。
本機は、リカバリディスクを使用してリカバリ領域を削除することができます。(148ページ)

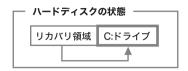
!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(114ページ)

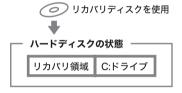
リカバリの種類

リカバリ方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「Cドライブのリカバリ」を行うことをおすすめします。

❑ Cドライブのリカバリ

C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

C:ドライブのみデータが削除されます。
リカバリ領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリ

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。
また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあるすべてのデータが削除されます。

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてリカバリができなくなったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合やリカバリディスクからリカバリするには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。

Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(136ページ)をご覧ください。

ヒント

指紋センサー搭載モデルをお使いの場合で、パワーオンセキュリティを有効にしている場合は、無効にしてからリカバリを行ってください。
リカバリが完了後、再度パワーオンセキュリティを設定してください。

!ご注意

- ドライブにディスクが入っている場合は、すべて取り出してから以下の手順で操作してください。
- 「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」または「メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」を[有効(外部機器・メディアを使用できません)]に設定している場合は、設定を[無効(外部機器・メディアを使用できます)]に変更してから、以下の手順を行ってください。

1

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント

- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。（145ページ）
- ［お買い上げ時の状態にリカバリ］を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをすべて消去し、本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント

[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、リカバリディスクの作成を警告する画面が表示されます。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って、事前にリカバリディスクを作成してください。
すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら［完了］をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「Windowsを準備する」（40ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。
  1) Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
  2) 表示される「自動再生」の画面で［SETUP.EXE の実行］をクリックする。
     「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
  3) 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、［ユーザー設定］をクリックする。
     「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
  4) 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから［マイ コンピュータからすべて実行］をクリックする。
  5) ［今すぐインストール］をクリックする。
     インストールが開始されます。
  6) インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする。
  7) Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の［OK］をクリックする。
     引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順2）から6）と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（120ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが起動しない状態でリカバリするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリディスクを使ってリカバリする
  リカバリ領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリディスクを使ってリカバリすることができます。ただし、リカバリ領域からリカバリするよりも時間がかかります。
- リカバリ領域からリカバリする
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリするため、リカバリディスクを使うよりも速くリカバリすることができます。

リカバリディスクを使ってリカバリするには

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 ⏻（パワー）ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Get Default Values]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

4 ドライブにリカバリディスクを入れる。

5 [Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

6 外付けドライブをお使いの場合は、F11キーを数回繰り返し押す。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

7 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

8 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

9 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

10 画面左側の[C ドライブのリカバリ]または[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。
Windowsのリカバリが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(140ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー)の検査を行うことができます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

11 「Windowsを準備する」(40ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。
  1) Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
  2) 表示される「自動再生」の画面で［SETUP.EXE の実行］をクリックする。
     「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
  3) 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、［ユーザー設定］をクリックする。
     「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
  4) 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから［マイ コンピュータからすべて実行］をクリックする。
  5) ［今すぐインストール］をクリックする。
     インストールが開始されます。
  6) インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする。
  7) Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の［OK］をクリックする。
     引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順2）から6）と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」（140ページ）の復元方法をご覧ください。

リカバリ領域からリカバリするには

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、以下の手順を行う前にあらかじめ別売りの外付けドライブを接続しておいてください。

1 ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。
BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Get Default Values]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。
[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

3 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリディスクを使ったリカバリの手順10からの操作と同様です。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」(140ページ)の復元方法をご覧ください。

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD／DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー（バックアップ）するには

！ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 **本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。**

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 **キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。**

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- “メモリースティック”やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。

VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

！ご注意
著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。（140ページ）

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 **[Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。**

4 **[次へ]をクリックする。**

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。**

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 **[ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。**

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 **「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。**

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 **[参照]をクリックして表示された画面で、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[フォルダの選択]をクリックし、[次へ]をクリックする。**

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが複数台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。*
別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。
本機はリカバリを行わずに、Windows上からの操作で新しくパーティションを作成することができます。
パーティションの作成方法について詳しくは、次の「パーティションを作成する」の項目をご覧ください。
* 機種によっては、お買い上げ時にD:ドライブが設定されている場合があります。

ヒント
「VAIO リカバリセンター」を使ってリカバリするときに、C:ドライブのパーティションサイズを変更することもできます。(147ページ)

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリ時に作成する

!ご注意

- リカバリ時にパーティションを作成する場合は、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリディスクの作成やリカバリなどの操作が正常に行われない場合があります。

1 （スタート）ボタンー[コントロール パネル]ー[システムとメンテナンス]ー「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント
本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。（ （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[システムツール]ー[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。）

4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

リカバリ時にパーティションを作成する

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順でも行うことができます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

7 ドロップダウンリストから、[数値入力(C ドライブとD ドライブに分割する)]を選択する。

8 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

リカバリ領域を削除する

本機では、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの一部をリカバリ領域として使用していますが、リカバリ領域を削除して、使用できるハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの容量を増やすことができます。
リカバリ領域を削除するには、リカバリディスクを作成しておく必要があります。(114ページ)

！ご注意
リカバリ領域を削除した後は必ずリカバリが実行されるため、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容はお買い上げ時の状態に戻ります。リカバリ領域を削除すると、それ以降に本機のリカバリを行う際には必ずリカバリディスクが必要となります。

DVDスーパーマルチドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システムの回復オプション」画面が表示されます。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

リカバリ領域上の「VAIO リカバリデータ」を残すかどうかの選択画面が表示されます。

7 [削除します]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを完全に消去することができます。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

！ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（114ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（119ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクから VAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（140ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

4 オペレーティング システムを選択し、［次へ］をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 ［VAIO リカバリセンター］をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

6 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

7 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

10 データの消去方式を選択し、[次へ]をクリックする。

11 データ消去するハードディスクを確認し[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

12 再度、[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[消去開始]をクリックする。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータの消去が開始されます。

13 消去終了の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときは／
サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 『取扱説明書』で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。

パソコンが動作しないときは、取扱説明書をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「VAIO 電子マニュアル」からも調べられます。

2 電子マニュアルを調べる

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

  「VAIO 電子マニュアル」は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックして表示します。
- 「Windowsのヘルプとサポート」をご覧ください。（184ページ）
- 各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ヒント

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを手軽にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

3 サポートホームページで調べる

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

「サポートホームページで調べる」をご覧ください。(185ページ)

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる(191ページ)

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。

バイオの使いかたに関するお問い合わせ
VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロサンサンキュウキュウ
(0120) 60-3399 (フリーダイヤル)

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないようご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

受付時間
平日:9時～18時
土曜、日曜、祝日:9時～17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していいただくと、「VAIO コールバック予約サービス」(193ページ)が24時間後利用いただけます。

ヒント

ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(206ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

よくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。

Q&A一覧

この説明書に記載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源/起動(159ページ)

- 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)
- 電源が入らない、または⏻(パワー)ボタンが効かない。(バッテリーランプがすばやく点滅している)
- 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- 「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示され、Windowsの準備ができない。
- 電源を入れてもWindowsが起動しない。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーから起動できない。

❑ パスワード(164ページ)

- Windowsパスワードを設定、変更、または削除したい。
- パワーオン・パスワードを忘れてしまった。
- ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。
- Windowsパスワードを忘れてしまった。

❑ バイオ本体(166ページ)

- 誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。
- ハードディスクから異音がする。(ハードディスクドライブ搭載モデル)
- リカバリ領域の容量を知りたい。

❑ 画面／ディスプレイ（167ページ）

- 画面に何も表示されない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画像が乱れる。
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

❑ 文字入力／キーボード（169ページ）

- Caps LockキーやCtrlキーが効かない。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

❑ タッチパッド（171ページ）

- タッチパッドが使えない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。
- Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

❑ CD／DVD（ディスクドライブ搭載モデル）（173ページ）

- ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

❑ LAN／ワイヤレスLAN（174ページ）

- ネットワーク（LAN）に接続できない。
- ワイヤレスLANが使えない。
- ワイヤレス機能が選択できない。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）。
- ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。
- ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。
- 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認したい。
- 本機と従来チャンネルのIEEE 802.11aアクセスポイントの接続を行いたい。
- 「VAIO Smart Network」ソフトウェアのフローティングウィンドウを表示されないようにしたい。
- ワイヤレスLANの通信を終了したい。

❑ Bluetooth機能（Bluetooth（R）機能搭載モデル）（179ページ）

- Bluetooth機能が使えない。
- ワイヤレス機能が選択できない。
- Bluetooth機能で通信できない。
- 通信相手の機器が表示されない。
- データ転送速度が遅い。
- Bluetooth機能を終了できない。
- 通信先のBluetooth対応機器が対応しているサービスで接続できない。
- 制限付きユーザーアカウント（標準ユーザー）でBluetooth通信できない。
- ユーザの切り替え先でBluetooth デバイスが使用できない。
- 他のBluetooth機器に接続できない。
- Bluetooth Audio機能を使用するとシステムが不安定になる。
- 携帯電話と名刺データのやりとりができない。

❑ USB（182ページ）

- 「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

❑ エラーメッセージ（183ページ）

- BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.
- Input Onetime Password
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- Operating System not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disabled
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。
- 予期しないエラーが発生しました
- 書き込み禁止

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「VAIO 電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

「VAIO 電子マニュアル」は、（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックするとPDFマニュアルを起動することができます。

Q 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)

次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。(34ページ)

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。

また、ウォールマウントプラグアダプタをご使用の場合は、ウォールマウントプラグアダプタとACアダプタ、ウォールマウントプラグアダプタとコンセントがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。(36ページ)

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露(216ページ)が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻(パワー)ボタンが効かない。(▭がすばやく点滅している)

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(34ページ)

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻(パワー)ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。

Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。

A メモリモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。

サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。

ソニー製の対応メモリモジュール以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露（216ページ）が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×]（閉じるボタン）をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows Vistaは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。
- 本機の ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(34ページ)

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（129ページ）

A パワーオン・パスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「Input Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、🔒1（Num Lock）ランプや🔒A（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

1) 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2008年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2008＋Enterキーの順で入力します。

2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、［Yes］を選択して、Enterキーを押す。

⑥ ［Exit Setup］が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

⑦ 確認画面が表示されるので、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示され、Windowsの準備ができない。

A 「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。

「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」（136ページ）の手順に従ってリカバリを行ってください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows エラー回復処理」画面（黒い画面）が表示されます。

その場合は、「Windowsを通常起動する」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

A 「Windowsが起動しない場合」（130ページ）の手順に従って操作してください。

Q　ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーから起動できない。

A　フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

パスワード

Q　Windowsパスワードを設定、変更、または削除したい。

A　詳しくは「Windowsパスワードを設定する」（62ページ）をご覧ください。

Q　パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A　パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）（指紋センサー搭載モデル）

Q　ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動やハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）
（指紋センサー搭載モデル）

Q　Windowsパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

Q 誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。

A ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにあったファイルは、復元できません。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。（129ページ）

Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。

A （スタート）ボタンー［コンピュータ］をクリックしてください。

「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする。（ハードディスクドライブ搭載モデル）

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［システム ツール］ー［ディスク デフラグ ツール］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② ［今すぐ最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックする。
「ディスク 0」に、リカバリ領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント
1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。

タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。

Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スリープモード)。

キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻ (パワー)ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタンを一瞬押してください。

ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A 画面の色数の設定が「最高(32ビット)」になっているか確認してください。

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

(スタート)ボタンー ボタンー[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の⏻(パワー)ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。

ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、[タスク マネージャの起動]をクリックする。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(パワー)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(パワー)ランプが消灯します。⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

A Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。）また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q Caps LockキーやCtrlキーが効かない。

A Caps Lockキーと左Ctrlキーを入れ替える機能が有効になっている可能性があります。BIOSセットアップ画面で設定を変更してください。

次の手順で操作してください。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。
BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

③ ←または→キーで［Advanced］を選択し、表示された画面で［Swap Caps Lock and Ctrl］を選択する。
スペースキーを押して［No］に変更します。

④ ←または→キーで［Exit］を選択し、表示された画面で［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。
確認画面が表示されるので、［Yes］が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」 に、

英字入力モードのときは「A」 になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(26ページ)

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(26ページ)

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバの設定を変更してください。

なお、この操作は「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

!ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]+[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]+[ひらがな]ではできません。
    ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

② [ハードウェアとサウンド]ー[デバイス マネージャ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

③ [キーボード]をダブルクリックする。

④ [101/102 英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2 キーボード]あるいは[日本語 PS/2 キーボード(106/109 キー)]を右クリックして、[削除]を選択する。

⑤ 「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されるので、[OK]をクリックする。

⑥ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

コンピュータが再起動します。

⑦ 再起動後、再起動を促すメッセージが表示された場合は、[今すぐ再起動する]をクリックする。

コンピュータが再起動します。再起動後は、キーボード配列が英語キーボードとなります。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。

それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A スマートアクションの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]アイコンをクリックする。

③ [マウス]アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

④ [機能]タブをクリックする。

⑤ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。

⑥ [OK]をクリックする。

Q Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A Webアシストの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② 「ハードウェアとサウンド」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

③ [機能]タブをクリックする。

④ [Webアシスト機能を使用する]のチェックをはずす。

⑤ [OK]をクリックする。
設定が有効になります。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q　画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、画面右下の ボタン－[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

CD／DVD(ディスクドライブ搭載モデル)

Q　ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。**(225ページ)**

A ディスクの入れかたが正しいか確認してください。

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブか確認してください。

本機での動作を保証しているドライブは以下のドライブとなります。

- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのバイオ専用ドライブ

A 後からインストールしたディスクの再生・書き込みソフトウェアをアンインストールしてください。

お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。

この場合は、追加したソフトウェアを一度アンインストールしてご確認ください。アンインストールの方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

！ご注意
お使いの機種により、ワイヤレスLAN機能が搭載されていない場合があります。

Q ネットワーク（LAN）に接続できない。

A 接続状態を確認してください。

A 設定を確認してください。

ネットワークに接続するための設定について詳しくは、ADSLモデムや接続している周辺機器の取扱説明書を参照してください。職場などでは、職場のネットワーク管理担当者にご確認ください。

ヒント
設定について詳しくは「VAIO Smart Network」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

A 「電源オプション」画面の「VAIO 省電力設定」タブで「ネットワーク（LAN）」の設定を「電源オフ」にしている場合は、ネットワーク（LAN）は使用できません。

「ネットワーク（LAN）」の設定を「電源オン」に変更してください。

Q ワイヤレスLANが使えない。

A ワイヤレススイッチが「ON」になっているか確認してください。

A 本機に内蔵されているワイヤレスLAN機能を使うには、通信するための設定を行う必要があります。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

A 本機のワイヤレスLANの設定を確認してください。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

A WLAN AutoConfigサービスが開始されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [システムとメンテナンス]をクリックする。
③ [管理ツール]をクリックする。
「管理ツール」画面が表示されます。
④ [サービス]をダブルクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「サービス」画面が表示されます。
⑤ 「WLAN AutoConfig」の項目を確認する。
状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっている場合、WLAN AutoConfigサービスは開始されています。

ヒント

WLAN AutoConfigサービスが開始されていない場合、次の手順でサービスを開始してください。

① 「WLAN AutoConfig」を右クリックして[プロパティ]をクリックする。
「WLAN AutoConfig のプロパティ」画面が表示されます。

② スタートアップの種類を「自動」にし、[適用]をクリックする。

③ [サービスの開始]をクリックし、画面を閉じる。

Q ワイヤレス機能が選択できない。

A デスクトップ画面右下の通知領域に （VAIO Smart Networkアイコン）が表示されていることを確認してください。

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。

次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

② [ネットワーク・接続]－[VAIO Smart Network]をダブルクリックする。

A ワイヤレス機能を無効に設定した後、再起動すると、「VAIO Smart Network」ソフトウェアの設定画面でワイヤレス機能の選択表示がされないことがあります。

次の手順で操作して、ワイヤレス機能の表示がされるようにしてからワイヤレス機能を選択してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]－[ネットワークとインターネット]－[ネットワークと共有センター]をクリックする。

② 画面左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

③ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックして[有効にする]を選ぶ。

④ 通知領域の （VAIO Smart Networkアイコン）を右クリックし、[閉じる]を選ぶ。

⑤ （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

⑥ [ネットワーク・接続]－[VAIO Smart Network]をダブルクリックする。

Q 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない(インターネットにアクセスできない)。

A 「ワイヤレスLANが使えない。」の項目を確認してください。

A ワイヤレスLANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

A ワイヤレスLANアクセスポイントの設定を確認してください。

設定について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書や、契約されているプロバイダの設定方法のしおりなどをご覧ください。

A 本機とワイヤレスLANアクセスポイントが接続されているか確認してください。

A 通信機器間の通信可能な距離は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

A 「ネットワークに接続」画面にワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ネットワークとインターネット]をクリックする。
③ 「ネットワークと共有センター」の[ネットワークへの接続]をクリックする。
「ネットワークに接続」画面が表示されます。
④ ワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認する。

A 入力したセキュリティ キーが間違っていることがあります。

セキュリティ上、1度設定したセキュリティ キーは「●」で表示され、確認することはできません。再度入力し直してください。

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ネットワークとインターネット]ー[ネットワークと共有センター]をクリックする。
③ 画面左側の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。
「ワイヤレス ネットワークの管理」画面が表示されます。
④ 「表示および修正が可能なネットワーク ...」のリストから確認したいものを選んで右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。
⑤ [セキュリティ]タブをクリックする。
⑥ 「ネットワーク セキュリティ キー」を入力し直し、[OK]をクリックする。

A ワイヤレス機能の設定が、使用しているワイヤレスLANアクセスポイントのワイヤレスLAN機能と同じ設定になっているか確認してください。

ワイヤレス機能の設定で2.4 GHzワイヤレスLANのみを有効にしている場合は、5 GHzワイヤレスLANのワイヤレスLANアクセスポイントには接続できません。

また、5 GHzワイヤレスLANのみを有効にしている場合は、2.4 GHzワイヤレスLANのワイヤレスLANアクセスポイントには接続できません。

A インターネットからのアクセスを制限する設定がされている場合は、通信できない場合があります。

お使いのセキュリティ対策ソフトウェアやWindowsのファイアウォール機能でアクセス制限をかけている場合、接続できないことがあります。設定を確認してください。

A ワイヤレスアダプタの設定を「最大パフォーマンス」に変更してください。

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [システムとメンテナンス]ー[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。
③ 選択している電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。
⑤ 「ワイヤレスアダプタの設定」で「省電力モード」を[最大パフォーマンス]に設定する。

Q ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。

A 本機の配置を変えたり、ワイヤレスLAN製品に近づけたりして、電波の受信環境を変えてください。

ワイヤレスLANの通信速度や通信状態は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材などの周辺の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

A ワイヤレスLANアクセスポイントへのアクセスが集中している可能性があります。

時間をおいてから、もう1度アクセスしてください。

A アクセスポイントのチャンネル設定を変更してください。帯域干渉による影響が無くなり、通信速度が改善する場合があります。

チャンネル帯域の干渉が起こると通信速度が低下することがあります。

A 他のワイヤレスLANアクセスポイントと混信している場合は、ワイヤレスLANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をしてください。

設定について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 電子レンジを近くで使用していないか確認してください。

2.4 GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。ワイヤレスLANでの通信中に周囲で電子レンジを使用していると、場合によっては通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

A ワイヤレスアダプタの設定を「最大パフォーマンス」に変更してください。

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② ［システムとメンテナンス］－［電源オプション］をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。
③ 選択している電源プランの［プラン設定の変更］をクリックする。
④ ［詳細な電源設定の変更］をクリックする。
⑤ 「ワイヤレスアダプタの設定」で「省電力モード」を［最大パフォーマンス］に設定する。

Q ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。

A Windowsのネットワーク設定を確認してください。

ネットワーク設定について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

A 他のコンピュータがワイヤレスLANネットワークの中に存在しない場合は表示されません。

Q 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認したい。

A 本機の内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認してください。

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンド プロンプト］をクリックする。
「コマンド プロンプト」画面が表示されます。
② 「ipconfig /all」と入力し、Enterキーを押す。
③ 「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「物理アドレス」欄で、物理アドレス（MACアドレス）を確認する。

Q 本機と従来チャンネルのIEEE 802.11aアクセスポイントの接続を行いたい。

A 本機は、従来チャンネルの5 GHzワイヤレスLANアクセスポイントとの接続を行うことができます。

新拡張チャンネルの5 GHzワイヤレスLANアクセスポイントとの接続を行うこともできます。

電波法改正後の従来チャンネルのワイヤレスLAN対応機器と新チャンネルのワイヤレスLAN対応機器の互換性については、「VAIO 電子マニュアル」の「新拡張チャンネル(IEEE 802.11a／IEEE 802.11n ドラフト仕様)の対応について」をご覧ください。

Q 「VAIO Smart Network」ソフトウェアのフローティングウィンドウを表示されないようにしたい。

A デスクトップ画面右下の通知領域にある (VAIO Smart Networkアイコン)を右クリックし、[フローティング ウィンドウを非表示にする]を選んでください。

Q ワイヤレスLANの通信を終了したい。

A 「VAIO Smart Network」画面で、「WLAN」の状態表示をクリックして消灯させます。

ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスLANランプが消灯します。

Bluetooth機能(Bluetooth(R)機能搭載モデル)

Q Bluetooth機能が使えない。

A Bluetoothランプが点灯していることを確認してください。

ワイヤレススイッチと「VAIO Smart Network」ソフトウェアの設定を確認してください。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

A Bluetooth機能が利用できる設定になっているか確認してください。

デスクトップ画面右下の通知領域にある (VAIO Smart Networkアイコン)を右クリックし、[メイン ウィンドウを表示する]を選んでクリックすると、「VAIO Smart Network」画面が表示されます。「Bluetooth」の状態表示が点灯していることを確認してください。

点灯していない場合は、クリックして点灯させます。

アイコンが表示されていないときは、次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

② [ネットワーク・接続]－[VAIO Smart Network]をダブルクリックする。

Q ワイヤレス機能が選択できない。

A デスクトップ画面右下の通知領域に （VAIO Smart Networkアイコン）が表示されていることを確認してください。

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。
次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO の設定]をクリックする。
② [ネットワーク・接続]ー[VAIO Smart Network]をダブルクリックする。

A ワイヤレス機能を無効に設定した後、再起動すると、「VAIO Smart Network」ソフトウェアの設定画面でワイヤレス機能の選択表示がされないことがあります。

次の手順で操作して、ワイヤレス機能の表示がされるようにしてからワイヤレス機能を選択してください。

① （スタート）ボタンー[コントロール パネル]ー[ネットワークとインターネット]ー[ネットワークと共有センター]をクリックする。
② 画面左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
③ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックして[有効にする]を選ぶ。
④ 通知領域の （VAIO Smart Networkアイコン）を右クリックし、[閉じる]を選ぶ。
⑤ （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO の設定]をクリックする。
⑥ [ネットワーク・接続]ー[VAIO Smart Network]をダブルクリックする。

Q Bluetooth機能で通信できない。

A 「通信相手の機器が表示されない。」の項目を確認してください。

A 接続したい機器との認証を確認してください。

機器によっては、認証されていない機器間の接続を拒否するように設定されています。
接続するには、接続する機器との認証が必要になります。

A 本機への接続が許可されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー[コントロール パネル]ー[ハードウェアとサウンド]ー[Bluetoothデバイス]をクリックする。
「Bluetooth デバイス」画面が表示されます。
② [オプション]タブをクリックし、[Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する]チェックボックスにチェックが付いているか確認する。

Q 通信相手の機器が表示されない。

A 通信機器間の距離を10 m以内に近づけてください。

本機と通信相手の機器間の距離が10 m以上ある場合は通信できません。

本機と通信相手の機器間の距離が10 m以内でも、機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどによって、通信できない場合があります。本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離をさらに近づけてください。

A 通信先のBluetooth機能がオンになっているか、または通信先の機器が省電力動作モードになっていないか確認してください。

A 通信先のBluetooth対応機器が、Bluetooth機能を使用できる状態になっているか確認してください。

状態の確認方法について詳しくは、通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

A 通信相手が他の機器と接続している場合は、通信相手として表示されなかったり、本機と通信できない場合があります。

Q データ転送速度が遅い。

A 本機と通信相手の機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどによって、データ転送速度は変化します。

本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

A 1台のバイオでBluetooth機能とワイヤレス機能を同時に使用すると、通信速度などに影響を及ぼす場合があります。

A 通信相手のBluetooth対応機器の仕様が「Version2.0+EDR」ではない場合、最大速度は721 kbpsになります。

Q Bluetooth機能を終了できない。

A 「VAIO Smart Network」画面で、「Bluetooth」の状態表示をクリックして消灯させます。

Bluetooth通信の終了方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「Bluetooth通信を終了するには」をご覧ください。

Bluetoothランプが消えても終了できない場合は、「電源を切るには」(39ページ)の手順に従って電源を切ってください。本機の電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、電源を切ります。

Q 通信先のBluetooth対応機器が対応しているサービスで接続できない。

A 本機が対応しているサービスでのみ接続できます。

対応しているサービスについて詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」および通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q 制限付きユーザーアカウント(標準ユーザー)でBluetooth通信できない。

A 制限付きユーザーアカウント(標準ユーザー)でBluetooth通信を行うと、正常に動作しない場合があります。

その場合は、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

Q ユーザの切り替え先でBluetooth デバイスが使用できない。

A ログオフせずにユーザー切り替えを行った場合は、切り替え先のユーザーアカウントでBluetooth デバイスが正常に動作しない場合があります。

その場合は、ログオフしてからユーザー切り替えを行ってください。

Q 他のBluetooth機器に接続できない。

A 通信相手の機器がPANU(Personal Area Network User)しかサポートしていない場合は、本機との接続はできません。

Q Bluetooth Audio機能を使用するとシステムが不安定になる。

A Bluetooth Audio機能を使用して音楽や映像の音を聞く場合、音楽や映像の再生ソフトウェアを起動中にBluetooth Audio接続に切り替えるとシステムが不安定になる場合があります。

Bluetooth Audio機器を接続してから、再生ソフトウェアを起動してください。

Q 携帯電話と名刺データのやりとりができない。

A 本機は携帯電話との間で名刺データを送受信する機能に対応していません。

USB

Q 「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

A USB機器への書き込みを制限をしている可能性があります。

「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」で「USB」の設定を「有効(書き込みできません)」にしている場合は、本機に取り付けたUSBメモリやハードディスクなどへの書き込みができなくなります。
USB機器へ書き込みを行う場合は、「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」で「USB」の設定を「無効(書き込みできます)」にしてください。

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.

A 「電源／起動」（162ページ）をご覧ください。

Q Input Onetime Password

A 「電源／起動」（162ページ）をご覧ください。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源／起動」（162ページ）をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源／起動」（162ページ）をご覧ください。

Q Operating System not found

A 「電源／起動」（162ページ）をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A 「電源／起動」（163ページ）をご覧ください。

Q System Disabled

A 「電源／起動」（162ページ）をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A 「電源／起動」（161ページ）をご覧ください。

Q 予期しないエラーが発生しました

A 「電源／起動」（163ページ）をご覧ください。

Q 書き込み禁止

A 「USB」（182ページ）をご覧ください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」を見る

基本的な使いかたやよくあるトラブルの解決方法などが記載されています。

「VAIO 電子マニュアル」を起動するには、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル（PDF版）]をクリックします。

Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

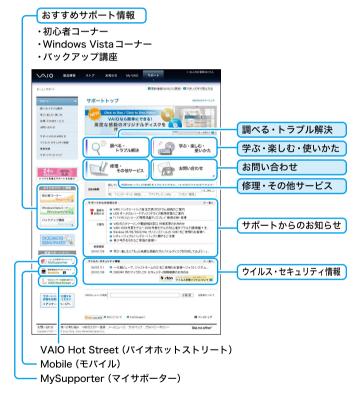
ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

サポートホームページで調べる

VAIOカスタマーリンク ホームページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機をインターネットに接続してご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決方法や活用方法、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

！ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の内容は、2008年2月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは186ページ～188ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［1 トップページ（トラブル解決・使い方情報）］をクリックして表示します。

＜調べる・トラブル解決＞

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/search/index.html

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。

製品別サポート情報、Q&A検索、バイオにつながる製品の接続情報、付属ソフトウェアのお問い合わせ先、OS（Windows）に関する情報など、お困りの問題を解決するさまざまな情報を提供しています。

❑ 製品別サポート情報（お客様のバイオの専用サポートページ）

バイオの製品ごとに専用ページを用意しています。
お客様のバイオに関する「お知らせ」「Q&A検索」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」など最新サポート情報を確認できます。

❑ Q&A検索

バイオに関するトラブル解決方法や操作・設定方法など、知りたい情報を以下の3つの方法で検索できます。

① よくある質問から探す
　カテゴリ別に分類されています。

② キーワードや文章を入力して検索する

③ 症状やエラーメッセージから探す
　例）音が出ない、電源が切れない（症状）
　例）「変換に失敗しました」（エラーメッセージ）

＜学ぶ･楽しむ･使いかた＞

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/howto/index.html

バイオをより活用したり楽しみたい、使いかたを知りたいという方はこちらをご利用ください。

バイオならではの活用方法や知っておきたいお役立ち情報など、バイオをさらに快適に楽しむための情報を提供しています。

❑ VAIOをもっと楽しもう！

テレビ、映像、写真、音楽など、ソニー製ソフトウェアを使ったバイオの楽しみかたを紹介しています。

❑ ソフトウェア活用ヒント集

知っておくと便利な活用方法を紹介しています。

例）CD-R活用ヒント集、DVD活用ヒント集、バックアップ講座、筆ぐるめ使い方講座、
　Word/Excel活用ヒント集、AdobePremiere活用ヒント集

＜修理／その他サービス＞

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/repair/index.html

❑ 修理関連のご案内

故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗状況の確認など、修理関連の情報を提供しています。

❑ その他サービスメニュー

バイオの設置･設定サービスや延長保証、点検サービスなど、各種有料サービスをご案内しています。

有料サービスの内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（203ページ）をご覧ください。

＜お問い合わせ＞

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/contact/index.html
お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
「VAIOコールバック予約サービス」（193ページ）や「VAIOリモートサービス」（194ページ）もこちらからご利用いただけます。

＜おすすめサポート情報＞

❑ 初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/index.html
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が知りたい情報をイラストなどを交えて分かりやすい言葉でご紹介しています。

❑ Windows Vistaコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/index.html
Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などで分かりやすくご紹介しています。

❑ バックアップ講座

http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/index.html
VAIOに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。大切なデータの保護にお役立てください。

初心者コーナー

Windows Vistaコーナー

バックアップ講座

VAIOカスタマーリンクモバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）

携帯電話向けのVAIOサポートサイトで最新のサポート情報を提供しています。特にウイルス情報などを調べたいときや、バイオの修理状況を確認したいときなどに便利です。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
  詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（200ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - What's New!
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - 新着Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
  - Q&A・用語集検索
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Streetモバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス　http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

はじめに
本機をセットアップする
インターネット／メール
パスワード／TPM／指紋認証
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
注意事項

VAIO Hot Street（VAIOユーザの情報交換サイト）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをお持ちのお客様同士で、よりバイオを活用するための情報を交換できるサイトです。
皆に教えてあげたい情報を投稿したり、わからないことを質問したり、質問に回答したりすることができます。
見たい投稿を閲覧するだけのご利用も可能です。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
電話番号：**(0466)38-1410**（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜日　**10**時 ～ **18**時（祝日、年末年始を除く）

！ご注意
バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、バイオに関する技術的な質問を電話で承っております。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOカスタマーリンクホームページで、バイオの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。
詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（184ページ）、「サポートホームページで調べる」（185ページ）をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（206ページ）をご覧ください。
それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ VAIOカスタマー登録をご確認ください

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
また、発信者番号通知にて、カスタマー登録の際に登録した電話番号でお電話していただくと、よりスムーズにオペレーターにつながります。
VAIOカスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録する」（47ページ）をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください(②～④は該当する場合のみ)

① 本機の型名(保証書または「各部の説明」のIDラベルに記載されています。)
② 本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)
③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ
④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号:(0120)60-3399(フリーダイヤル)

(ロクゼロ サンサンキュウキュウ)

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466)30-3000(通話料お客様負担)

受付時間 平日:9時～18時

土曜、日曜、祝日:9時～17時

(365日年中無休)

年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(193ページ)が24時間ご利用いただけます。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント

音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

お問い合わせの際にご利用ください

- VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況
- VAIOコールバック予約サービス
- VAIOリモートサービス

各項目について詳しくは、以降をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(使い方相談)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「技術的なお問い合わせ」をクリック → 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(使い方相談)」をクリック

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただくと、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク(コールセンター)からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

予約受付:**VAIO**カスタマーリンクホームページからいつでもご予約可能

回答時間:**365**日**24**時間

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOコールバック予約サービス」をクリック

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。
- 本サービスは、バイオ本体やバイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(185ページ)をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。
難しいパソコン用語は不要なので、「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」という方は、ぜひお試しください。

！ご注意

- 本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

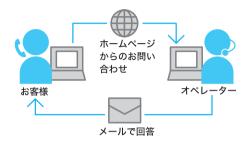
VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOリモートサービス」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（185ページ）をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる（テクニカルWEBサポート）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
「テクニカルWEBサポート」は、バイオに関する使いかたなどの技術的な質問をホームページ内の問い合わせフォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです。

ヒント
本サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「メールで相談する」をクリック

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（185ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。
なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。
FAX情報サービス
FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意
一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOカスタマーリンクホームページ」などで、お使いのバイオの症状に合うものがないかご確認ください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。
詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(184ページ)、「サポートホームページで調べる」(185ページ)をご覧ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページの「故障かな？と思ったら」(http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/mistake.html)でも故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/precall.html）またはFAX情報サービス（195ページ）より入手できます。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合

2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読みください

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様への返却をしておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたバイオの保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外修理サービスとして「VAIO Overseas Service」をご用意しています。詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（203ページ）をご覧ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。
弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」（113ページ）をご覧ください。

！ご注意
OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 概算修理料金について

ホームページで、製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。
VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（修理相談）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/konzatu.html
修理相談窓口の混雑状況をVAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合があります。ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

① 修理窓口に電話をかける
「**VAIO**カスタマーリンク修理相談窓口」
電話番号：**（0120）60-5599**（フリーダイヤル）
（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）
※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3030（通話料お客様負担）
受付時間 平日：9時～20時
土曜、日曜、祝日：9時～17時
（365日年中無休）
※ 年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

！ご注意
- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

ヒント
- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2008年2月現在）

② 修理の受付

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／② 12時～ 15時／③ 15時～ 18時／④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

!ご注意

- 上記は2008年2月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業は、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」（200ページ）をご覧ください。

お届け／お支払い（有料の場合のみ）

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い（有料のみ）

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOカスタマーリンクホームページで確認する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html
修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOカスタマーリンクホームページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「修理・その他サービス」をクリック → 「修理進捗状況と修理品到着後の確認」をクリック → 「修理／お預かり状況の確認」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（185ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクモバイル（携帯電話向けサポートサイト）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

!ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jpからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンクモバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。
- URLからアクセス　https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（196ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、マイブックマークやメモなど、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

（2008年2月現在）

❑ My VAIO Pass（無償）

VAIOカスタマー登録（47ページ）をしていただいたお客様に無料で提供する優待プログラムです。お得な優待キャンペーンや、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5～10%）など、さまざまな特典を受けることができます。

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

ワンランク上の優待プログラム「My VAIO Passプレミアム」なら、ソニーポイントのプレゼント率がさらにアップ。
また、プレミアムメンバー限定の無料コンテンツや優待販売、プレゼントキャンペーンなども随時ご提供します。

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループ共通のポイントプログラムです。貯めたポイントは、ソニーグループの多彩な商品やサービスの購入などにご利用いただけます。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはバイオオーナー向けサイトMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

!ご注意
2008年2月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

ベーシック
1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド
ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や火災・水災等の事故についてもご購入から3年間無料修理します。

!ご注意
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- バイオをご購入日から30日間までお申し込みいただけます。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外です。

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。
また、その際お電話でのサポートも行います。

!ご注意
- 一部の機種はサービス対象外です。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。

❑ VAIO設置設定サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。
各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

デジホームサポートデスク
電話番号：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号：（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間：10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

❑ VAIOメール

http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

バイオをお持ちの方に「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスを提供します。

プロバイダを変更しても、同じメールアドレスを使えます。Webメールやデータ保管などの機能も使用できます。

❑ VAIOソフトウェアセレクション

http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

VAIOカスタマー登録をしていただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。

❑ セミナー・個人レッスン

http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

セミナー

バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局

電話番号：(0570)075-111（一般及び携帯電話）　(03)5789-3493（PHS・IP電話）

受付時間：10：00 ～ 18：00

個人レッスン

バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

❑ 部品の販売について

http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）
  （部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートCD-ROM送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートCD-ROMを有料で送付するサービスです。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみ）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にホームページをご確認ください。

❑ VAIOクリニック（点検サービス）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/clinic/

ソニー品質基準に基づいた各種点検に加え、普段手入れのできない内部のお掃除やキーボード交換など、お客さまのVAIOを専門のスタッフが1台1台丁寧にクリニックします。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。
付属のソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

ご注意
- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ Windows Vista(R) Business

VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Roxio Easy Media Creator

Roxio サポートセンター

電話番号:(0570)00-6940(ナビダイヤル)

受付時間:10時〜18時
(月曜〜金曜、祝祭日、ソニック・ソルーションズ株式会社特別休業日は除く)

※Roxio サポートセンターに電話でお問い合わせ頂いた場合、お客様がご利用されている電話回線・端末の種類によって通話料のご負担額が異なります。

電子メール:下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。

ホームページ:http://www.roxio.jp/support/

写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート

電話番号:(0570)023623(ナビダイヤル)
または(03)5304-2400

アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ:
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。

操作方法やその他に関するお問い合わせ:
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
(無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。)

※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。サポート対象製品はホームページをご確認ください。

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

受付時間:月曜〜金曜:9時30分〜17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)

ホームページ:
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

セキュリティー

❑ マカフィー・PCセキュリティセンター

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター

- 製品のインストールに関するお問合せ
- マカフィー製品の使い方、設定方法
- マカフィー製品に絡むパソコンの障害

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

- ユーザ登録方法
- 契約情報の確認、更新
- キャンペーンに関するご相談

電話番号：

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン・光電話の方はこちらへ）

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792（IPフォン・光電話の方はこちらへ）

*　いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
年中無休　9時～21時

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜　9時～17時（祝日、祭日は除く）

電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞

マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp

ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜、日曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ Adobe(R) Acrobat(R) Standard

アドビ システムズ　テクニカルサポート

電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400

アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：

1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。

操作方法やその他に関するお問い合わせ：

有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）

※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。サポート対象製品はホームページをご確認ください。

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ ATOK for Windows

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：
東京：（03）5412-3980／大阪：（06）6886-7160

受付時間：
月曜～金曜：10時～19時、
土曜、日曜、祝日：10時～17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/

FeliCa（フェリカ）

❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル

電話番号：（0570）081-999（ナビダイヤル）

（03）6420-5699

受付時間：平日：9時30分～19時

土曜、日曜、祝日：10時～18時

（1/1～1/3と毎年2月第1日曜日を除く）

ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：
東京：（03）5412-3980／大阪：（06）6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～19時、
土曜、日曜、祝日：10時～17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ VAIO の設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Smart Network

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIO 電子マニュアル（PDF版）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ハードディスク プロテクション

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：月曜～金曜：10時～18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

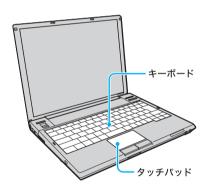
本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

防滴構造について

本機は、キーボード上に水などをこぼしてもパソコン内部への浸水を抑える構造をキーボードとタッチパッドに採用しています。

これは、キーボードにかかった水滴を底面の水抜き穴から排水することにより、本機内部に水滴がたまることを抑えるものであり、内部部品やハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの故障・破損、データの破壊・消失などの防止を保証するものではありません。

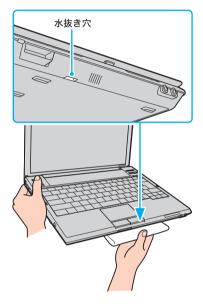
キーボードとタッチパッド以外は防滴構造ではありません。また、防滴構造は、浸水を完全に防ぐものではありません。

キーボードに水をこぼしたときは

万一、水などの液体をキーボード上にこぼしてしまったときは、こぼした水が少量の場合でも、必ず次のように処置してください。こぼしたまま放置すると、故障の原因になります。

①すぐに電源を切り、ACアダプタを抜く。

②キーボード上の水滴を、乾いた柔らかい布で拭く。

③ゆっくりと前方に傾けながら本機の後部を持ち上げて水を出す。
後方に傾けると、内部に浸水して故障の原因になります。

④そのまま底面の水抜き穴から出た水を乾いた柔らかい布で拭く。
底面に水滴が残らないように、しっかり拭き取ります。

⑤本機を乾いた場所に移動させる。
水が残っている場所に置いたままにしていると、底面から水が浸水する可能性があります。

⑥水滴を拭き取った後、バッテリを取りはずし、VAIOカスタマーリンクに点検を依頼する。

液体をこぼしたときは、必ず点検を依頼してください。

また、水などの液体をこぼしたことによる修理は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。）また、見る角度によって、すじ状の色むらや下辺に明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- バッテリを取り付ける際には、液晶ディスプレイにバッテリをぶつけないようにしてください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えると、液晶に傷や汚れが付いたりする場合があります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。

そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。

管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。

全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)または内蔵フラッシュメモリーが内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを取りはずさないでください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのバックアップについて

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。

- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリーカードアクセスランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
  メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用すると動作しない場合があります。
  メモリースティック マイクロスタンダードサイズアダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

その他のメモリーカードについてのご注意

メモリーカードをお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- 本機では、2008年1月時点で一般の販売店で購入できる2 GバイトまでのSDメモリーカードおよび16 GバイトまでのSDHCメモリーカードでのみ動作確認を行っています。
  ただし、すべてのSDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- 本機では、2008年1月時点で一般の販売店で購入できる主要なメモリーカードでのみ動作確認を行っています。
  ただし、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードの著作権保護機能やハイスピード転送には対応していません。
- メモリーカードを挿入するときは、正しくスロットに入れてください。
- メモリーカードの向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとするとスロットやメモリーカード本体を破損するおそれがあります。詳しくは、メモリーカードの各メーカーの取扱説明書をご覧ください。
- miniSDカードはそのままではご使用になれません。
  miniSDカードはminiSDカードアダプタを装着してご使用ください。
- メモリーカードにプロテクトがかかっている場合は、データの書き込みができません。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- データの読み込み中や書き込み中(アクセスランプ点灯中)にメモリーカードを取り出さないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中にメモリーカードを抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- メモリーカードが取り出せないときは、もう一度奥まで押し込んでいったん離し、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカードスロットは、対応するカードの書き込み、読み出し以外の用途ではご使用になれません。
- メモリーカードを持ち歩く場合には、必ず専用ケースに入れるなどして、静電気の影響を受けることのないようご注意ください。
- メモリーカードスロットの中に異物を入れないようにしてください。

メモリカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリカードをコンピュータ以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリカードをフォーマット(初期化)してからご使用ください。

お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリカードをフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

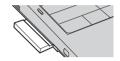
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- PCカードスロットからはみ出すPCカード（PHSカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

  - PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて（ワイヤレスLAN機能／Bluetooth機能搭載モデル）

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧ください。

- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHz（IEEE 802.11a）ワイヤレスLAN機器の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯のワイヤレスLAN機能と5 GHz帯のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生した場合、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込んでください。
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。本機以外では使用しないでください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの放電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリ駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリの性能低下と交換について

バッテリは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が低下していきます。このため、充分に充電を行ってもバッテリ駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換してください。

バッテリの交換に関してご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずされるときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き替えについて（ディスクドライブ搭載モデル）

お買い上げ時は、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。

一部のソフトウェアには地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを完全に消去する（149ページ）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.html
  をご覧ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを破壊する
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意（ディスクドライブ搭載モデル）

使用できるディスク

◎：再生、記録可能
○：再生のみ可能、記録不可
×：再生、記録不可

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R／RW	◎
DVD-R／RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
VIDEO CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。
*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。
*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0／2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1／1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*6 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2／12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録/再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW/DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW/DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R／CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドを操作すると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

索引

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ナ行】

【ハ行】

【マ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

【F】

【I】

【L】

【N】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。

  i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。

- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard（TM）はMultiMediaCard Associationの商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc. Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本マニュアルで登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

バイオのサポート情報が満載

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロサンサンキュウキュウ

(0120) 60-3399

（フリーダイヤル）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからの
ご利用は、(0466) 30-3000（通話料お客様負担）

受付時間
平日：9時～18時
土曜、日曜、祝日：9時～17時
（365日年中無休）
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」が24時間ご利用いただけます。

お電話の前に本機の型名をご確認ください。
（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。）
お電話でのお問い合わせについて詳しくは、「電話で問い合わせる」をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ

(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO (http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/) では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

※このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO (http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/) をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク
使いかたのお問い合わせ　電話番号（0120）60-3399
※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-877-569-**01** (1)